

●陸奥国分寺跡第 31 次調査

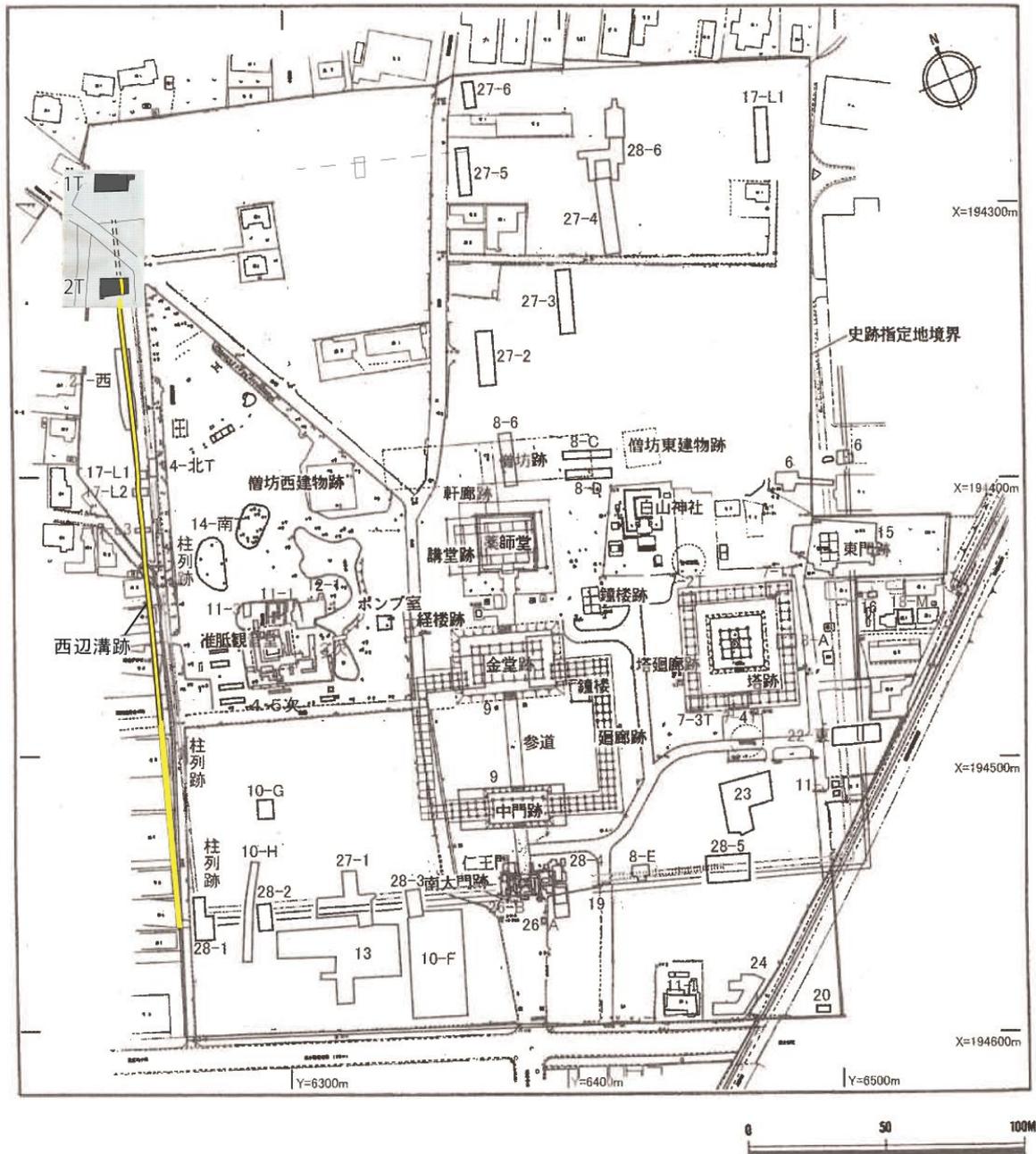
1. 調査要項

調査地点 仙台市若林区木ノ下3丁目3, 10 調査期間 令和3年6月3日～7月20日

調査面積 1T : 70 m², 2T : 60 m²

2. 調査概要

寺域の北辺ラインの確認を目的に北西部2ヶ所で調査を実施した。1T（北側）では井戸跡1基、ピット6基が確認されたが寺域を区画する溝跡は確認されなかった。2T（南側）では寺域西辺を区画すると推定される溝跡1条の他、ピット1基と近代以降の掘り込みが確認された。調査結果から北辺ラインは1Tと2Tの間に存在する可能性が考えられる。遺物は平瓦、丸瓦、土師器等がテン箱2箱出土した。



陸奥国分寺跡第 31 次調査 調査地点位置図



1T 全景 (南から)



2T 全景 (南から)